

# 憲法九条の正念場

## 40年目の赤とんぼ意見広告

# 今年も飛びます



2月24日 ロシアがウクライナに侵攻しました。1ヶ経った今も砲撃は続いています。砲弾の下で多くの命が亡くなっています。ロシア兵もたくさん死んでいます。一刻も早く戦争が終わってほしい！

でも何故 今戦争が起こったのか？

ウクライナのゼレンスキー大統領がNATOに加盟しようとしたからプーチン大統領は激怒したという記事がありました。NATO？東西冷戦の頃、旧ソ連に対抗するために生まれた軍事同盟でしょ。旧ソ連崩壊は1991年。NATOに対抗していたワルシャワ条約機構はソ連崩壊とともに消滅したのに何故NATOだけ残ったの？調べてみて驚いた。当初12か国（1949年4月）だったNATO加盟国はソ連崩壊後、東ヨーロッパ諸国（チェコ、ハンガリー、ポーランド）の加盟でどんどん増え続け2020年3月までに30ヶ国になった。NATOは軍事同盟ですよ。相手は？

まさか日本は加盟してないよねと思ったら、日本はNATOのグローバル・パートナー国として名を連ねています。何それ？

**\*2014.9.26 日本・NATO海賊対処共同訓練**

忘れもしません 2014.7.1 集団的自衛権閣議決定  
このためだったのか。

**\*2015.3.3 日本・NATO危機管理演習への参加**

忘れられない日付 2015.9.19 安保法制成立  
施行されたのは2016.3.29

国民に説明しました？「NATOと一緒に戦いたいから安保法制作りました」って。

今頃知って腹を立てるのもどうかしているのですが・・・

大事な事は国民に知らせるなですか？どこが民主国家ですか？

立憲主義を理解できる政府が欲しい誠実な政府が欲しい

憲法九条を世界へ！！

(宮崎優子)

No. 228号  
2022年4月14日  
発行人 宮崎 優子  
事務局 日高 礼子  
☎090-1166-4218  
FAX097-544-8892

### 安保法制違憲訴訟 判決

5月26日(木)  
11:00~  
大分地裁にて

終了後大分県弁護士会館  
で報告があります。

連絡先>097-534-3436  
(共同法律事務所)

### 意見広告までの日程

- 6月11日(出) 映画「2887」上映会  
コンパル視聴覚室 13:00~
- 6月18日(出) テザイン会議 ライフパル1F 13:30~
- 7月 2日(出) 赤とんぼ憲法学習会  
ライフパル2F 13:30~
- 7月 9日(出) テザイン会議・校正作業  
ライフパル2F 13:30~
- 7月31日(日) 意見広告 募集メ切  
以後随時 校正作業
- 8月15日(月) 意見広告掲載

### 日出生台米海兵隊 実弾砲撃訓練抗議集会

4月17日(日) 13:00~  
日出生台演習場 ゲート前にて

主催>草の根の会  
連絡先>090-5948-5679 (梶原)  
090-4997-9747 (渡辺)

詳細は2面にて

# 4月16日から日出生台では 過去最大規模の米軍演習 今回は外出を解禁!?

ローカルネット大分・日出生台 浦田 龍次

4月5日、日出生台で今月行われようとしている、米軍演習について、大分県庁で県知事へ要請を出した。その後の意見交換の時間は、やりとりの大半が「米軍の外出問題」に集中した。それは、九州防衛局が今回の米軍訓練に関する説明で、「買い物や食事のために外出することもありうる」と、

これまでしたことのない説明を行ったからだ。その意味を考えたときに、これまで日出生台では抑制的であった米兵外出を今回で解禁にし、一気に日出生台での個々の米兵の外出の自由化を狙っているのではないかということが懸念された。

するなど責任を持って対応する」と規定されている。文面からすれば、米軍が外出する際には必ず防衛局職員がつくと約束したものだと思わせる文面なのだが、これについて日出生台の地元説明会で質問されて、九防の担当者は、「全てについて同伴するとは書いてない。状況に応じて」と回答した。

「同行」の解釈をめぐっては、これまでも「同行など」であって、必ずしも同行ではない。「巡回に切り替えた」「あくまで努力目標」だとか、あの手この手の「同行しない言い訳」が本土の他の移転地でも繰り替えされてきた。でも思い起こしてほしい。そもそも日出生台の米軍演習が移転になった経緯を。1995年、沖縄で3人の米兵による少女に対する痛ましい暴行事件が発生。それを

受けて、沖縄の米軍と基地に対する積年の怒りが爆発。日米両政府は、県道104号線越え実弾砲撃演習の本土5ヶ所への移転を含むSACO合意を発表し、日出生台を含む本土5ヶ所に米軍演習は移転されることになった。

この経緯から考えても、当初、地元住民らが最も心配をしたのは、当然、治安問題だった。その不安を解消するために、「外出米兵に対する職員同行」が盛り込まれた。それを今になって、同行しないなどと言うのは、「国の責任でやらせていただく」といって始めたはずなのに、あまりに国は無責任ではないか。

しかし、おそらく、日出生台にやってくる個々の米兵らにしてみれば、「沖縄では訓練が終われば自由に外出できて、飲み食いも自由なのに、なんでこっちでは同じことができないんだ」という思いはあるだろう。米軍の方針としては、本土での移転演習も回を重ねていく中で、沖縄並みに自由に外出できるように段々と既成事実を積み重ねていき、最終的には沖縄同様の自由を獲得したいと考えているであろうことは想像に難くない。

しかし、我々大分県民としてはそんなことを許すわけにはいかない。さきほどの米軍訓練が移転になった経緯や、沖縄ではその後も変わらず米兵による事件や事故、女性の被害などが継続していること、日米地位協定によって米軍側は保護され、日本の警察権、裁判権が米軍に及ばず、泣き寝入りになるケースが多い現実などを考えた時に、やはり、沖縄同様の外出が日出生台周辺で自由になることは、いずれこちらでも沖縄と同様の事態が起きることを意味すると考えざるをえない。沖縄で問題が起きていて痛みがそこにあるならば、その沖縄の状況そのものを改善すべきであって、痛みをただ本土5ヶ所に移転したところで、沖縄の状況が改善されるわけではない。どうやって「痛み」そのものを無くすのかを考えるのが国の本来の役目のはずだ。



要請文を手渡すローカルネット大分・日出生台のメンバー

## 愛する 未来の命たちへ

今私達は、戦争とまさに向き合っています。全世界の人々が、戦場と化したウクライナの人々の惨状をSNSやテレビを通して知り驚きいろんな言葉を発しています。いくつか心に掛った言葉をメモしたものを書きます。

- この戦争は、ロシア人として、許せません！プーチンの戦争です。ロシア人の恥です。  
(日本在住 若いロシア人女性)
- ずっと隣人として仲良くしてきたのに、もう世代が変わっても許す事はありません。  
恨み続けます。  
(ウクライナの孫を殺された祖母)
- ママ～助けて～ボクだまされたんだ！訓練と言って連れて来られたんだ！  
(ロシア軍の徴兵4ヶ月の若者 人を殺した事なし)

死んだ人達は帰ってはきませんが、残された人達の悲惨さも永遠に続くのです。

狂気の沙汰に及んだ人間を大統領に選んだ国民の大部分は、いまだ国の作りあげたプロパガンダを信じ、息子達を戦場へ送り、プーチンを英雄として称えており、その様子は未来のロシア国民にとっても悲劇としか言いようがありません。ドイツのヒットラーも、ロシアのプーチンも国民によって選挙で選ばれたのですから、怖いですね！

私はすでに70代、4人の孫がいます。若い時から、8月の原爆投下の映像を見る毎に、焼けこげた死体に我子が重なり「二度とくり返しませんから。」と手を合わせて祈ります。ノーベル平和賞のサーオ節子さんや「ICAN」の皆さんのように「核も原発もNO！」と叫び続けます。

### 〈映画《2887》監督 河野優司さんを偲んで〉

ご存知の方もいらっしゃるかと思いますが、〈アベ政治を記憶する〉と副題のついたこの映画を作った河野監督が、お亡くなりになりました。日田での上映初日の前日3月20日、この日は「宮崎からの移動日なので日田に着く時間が決まったら連絡します。」と電話を頂いたのが最後の会話となりました。心よりご冥福をお祈り致しますと共に遺作となったこの映画にかけた河野監督の思いが多くの方に届くように感謝をこめ、次の一歩を進めたいと思います。バトンを受けとった人から人へ！

### 〈河野監督がこの映画で伝えたかった事〉

今、まさにウクライナをめぐる戦争で武器と武器で殺し合い、多勢の市民が巻き込まれています。「日本の国は大丈夫ですか？」と私達に警鐘を鳴らしてくれた事がわかります。安倍さんは、国民にいろんなウソやゴマカシを言いましたが、その最たるものが安保法制の強行採決です！国と国のもめ事で、戦争放棄という憲法に違反してアメリカと一緒に戦争をする集団的自衛権を数とゴマカシで押し切ったのです。その時の記者会見で「日本が戦争に巻き込まれる恐れは一層なくなっていく」と言ったのです。私達は忘れません。真逆なウソで通ったその集団的自衛権のせいで、いつアメリカ軍と一緒に自衛隊員が死ぬ事になるのか！私達日本の国が戦争に巻き込まれるのか！アベさん、私達は不安です。50を越す原発を抱え込んでいるのですから。

日本は敵基地などと言わず、風通しのよい民間力、若者たちも外交に交えて、未来へ通じる努力をするしか道はありません。

北朝鮮と戦争している相手はアメリカであり、日本は核をもちたいという政治の中枢にいる人たちのシナリオにのってはいけなないと気づかされました。

若者たちは今ネットを通じて世界の友だちとつながっている層もたくさんいます。いつの日かプーチン政権下で孤立するロシアの若者も、一緒に地球環境の悪化と立ち向かう日もくるでしょう。地球に生き残るための作業の遅れをとり戻すために！  
(日田市 井倉順子)

大分でも赤とんぼが6月11日(土) 13時からコンパル視聴覚室で「2887」を上映します。

日田でも井倉さんが河野監督の遺志をついで、再び動き始めるようです。

# ロシアとウクライナから

ロシアとウクライナの戦争が続いている。そのようすはテレビで数時間遅れで知らされる。連日人間の暮らしがこわされてゆく様子がありありと映し出されている。

目をそらさず見ていようと思っけれど、途中で消してしまいたくなる。母親が一緒とはいえず、この先どうなるのかわからない不安と恐怖の中で子どもが泣いている姿は見るのが辛い。

でもこんなふうに辛いから見ないと現実から逃げてしまうのは我ながら情けないと思ひ直したりしながらテレビや新聞で戦況を確認している。今までも局地的な戦争は何回もあり、報道もされてきたが、今回のように実況放送に近い報道はあまりなかった。

その意味で、これだけ世界中の人が見ている反戦の動きもあちこちで起こればそんなに長引かないのではと思ったりしたが、国際世論の影響は今のところあまり感じられない。どうしたら戦争を止めることができるのか。

独裁政権の下で自由な発言を止められているロシアの内側からも生命がけの反戦の動きは起きているけれど。そして外側からの働きかけ（非軍事での）も起きているけれど…話し合う道も開かれてはいるけれど、停戦へは動いていない。

ウクライナの、そしてロシアのこれほどの人の命や日々の暮らしを犠牲にしてでも手に入れたいものは何

なのだろう。手に入らなければがまんできないものなのだろうか。

一方で私たちの日常にある不寛容がまんのなさ、それをあおる動きのことなどを考える。今憲法を変えて、いつでも戦争のできる国へ踏み出そうとする動き、さらには核兵器を持つとうなどと言いつす国会議員も出てきて、この国も本当に危ういところにいると恐ろしくなる。

世界に万を超える核兵器があり、一方に原発がある。一たび戦争になって核攻撃を受ければ日本はあつという間にメツボウである。日本が持たなくても、米軍基地が狙われれば同じなのだ。

大きな力（大国）と力が争えば瞬時に世界の大半が廃墟となってしまう。抑止力というけれど、人と人とのつながりが希薄になり、がまんする力がなくなってくれば…。

コロナ禍の中で人間のやさしさや想像力が細ってゆかないように、さまざまな工夫が必要だと思う。人と人が集える場の設定、例えば障害の有無や性別を問わず集まれるキャンプ。毎年七・八十人規模のふれあいキャンプを実践しているが、あの時集まったO才代から70才代までの人たちのつながりは今でもいろいろな場面で生きている。10年程前にやり難くなって止めたあの場で、私達はどれほど楽しく鍛えられたことか。

コロナウイルスに阻まれようとも人と人とはやはり一緒にいることで感じ取り学ぶことがとても多い。

(寄村仁彦)

## 憲法記念日講演会 (第50回) の開催

### 「憲法の平和主義をどう考えるか」

講師>飯島 滋明さん (名古屋学院大学教授)

とき>5月3日(火) 10:00~

ところ>大分県教育会館 (大分市下都)

主催>平和憲法を守る会大分 他

連絡先>097-534-3436 (共同法律事務所)

## 5.3 駅前憲法フェスタ

とき>5月3日(火) 13:00~15:00

ところ>大分駅北口広場  
スタンディング・歌  
アピール・演奏

主催>市民連絡会おおいた  
連絡先>090-4583-8797 (池田)

## ドキュメンタリー映画

### 「大地を受け継ぐ」

とき>5月14日(土) 14:00~

ところ>アイネス 2F (大分市東春日町1-1)

入場料>前売 700円  
当日 1,000円

主催>伊方原発をとめる  
大分裁判の会

連絡先>090-2296-1953 (大原)

## 市民連続講座2022

### 「憲法と私たち」

講師>大田 恭子さん  
とき>6月4日(土) 13:30~

ところ>コンパル400号室

資料代>500円

主催>市民連絡会おおいた  
連絡先>090-4583-8797 (池田)

## 映 画

### <アベ政治を記憶する>



とき>6月11日(土) 13:00~

ところ>コンパル視聴覚室

参加費>1,000円

主催>赤とんぼの会

連絡先>090-1166-4218

## 赤とんぼ憲法学習会

### 「カントの平和論とドイツ史の一コマ」

講師>安岡 正義さん (大分大学名誉教授)

とき>7月2日(土) 13:30~

ところ>ライパル 2F (大分市内府内町3丁目)

主催>赤とんぼの会

連絡先>090-1166-4218

## 声に出して読んでみましょう憲法九条

「戦争の放棄、戦力の不保持、交戦権否認」

①日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。  
②前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

赤とんぼの会事務局 〒八七〇〇八五五 大分市豊饒2丁目5番53号

TEL>0990(1166)4218 FAX>0997(544)8892  
ホームページ><http://aka-tombo.com/> (郵便振込 015400012160)